

あげち
⑥上地 〈千代田町〉

人口 86 人、世帯数 25 世帯

上地地区は、通称中央道路（市道境原・龍尾線）の北側、国営水路千代田線と県営水路詫田線の間に位置しています。

地名の由来は、この地は近隣の地区に比較して高く、湿水状態が少なかったので、「上土地」という意味から「上地」という名称がついたようです。

伝統行事は、春筆、秋筆、綾部神社参拝、御日待、特に秋の「村祭り」は、子どもからお年寄りまで一堂に会して、手作り料理で行われています。また、春夏の一日がかりのクリーク清掃、中央道路両側に減反時のコスモロード、冬にはプランターにパンジー植栽など環境保全・美化活動に努めています。



▲パンジー植栽

あねがわかみぶん
⑤姉川上分 〈神埼町〉

人口 223 人、世帯数 63 世帯

姉川上分は、佐賀市と接する神埼町の西南に位置する約 70 町分、福岡ドーム 15 個分の面積を有し、JR 長崎本線と中地江川で 4 地区に分かれた純農村地帯です。

地区には 14 世紀初頭頃に築城されたとされる姉川城跡があり、城を中心とした環濠集落形態が今なお原形を留め存在しています。現在、文化的景観としての価値が見直され、国の指定史跡としての手続きがなされています。古代の吉野ヶ里に始まり中世の環濠集落、そして近代日本を切り開いた 7 賢人を輩出した佐賀市と壮大な歴史の口マンを感じさせる遺跡の一つである姉川城跡を中心とする環濠集落をいかに維持するか、今後の大きな課題です。



▲姉川城跡（圃場整備前）

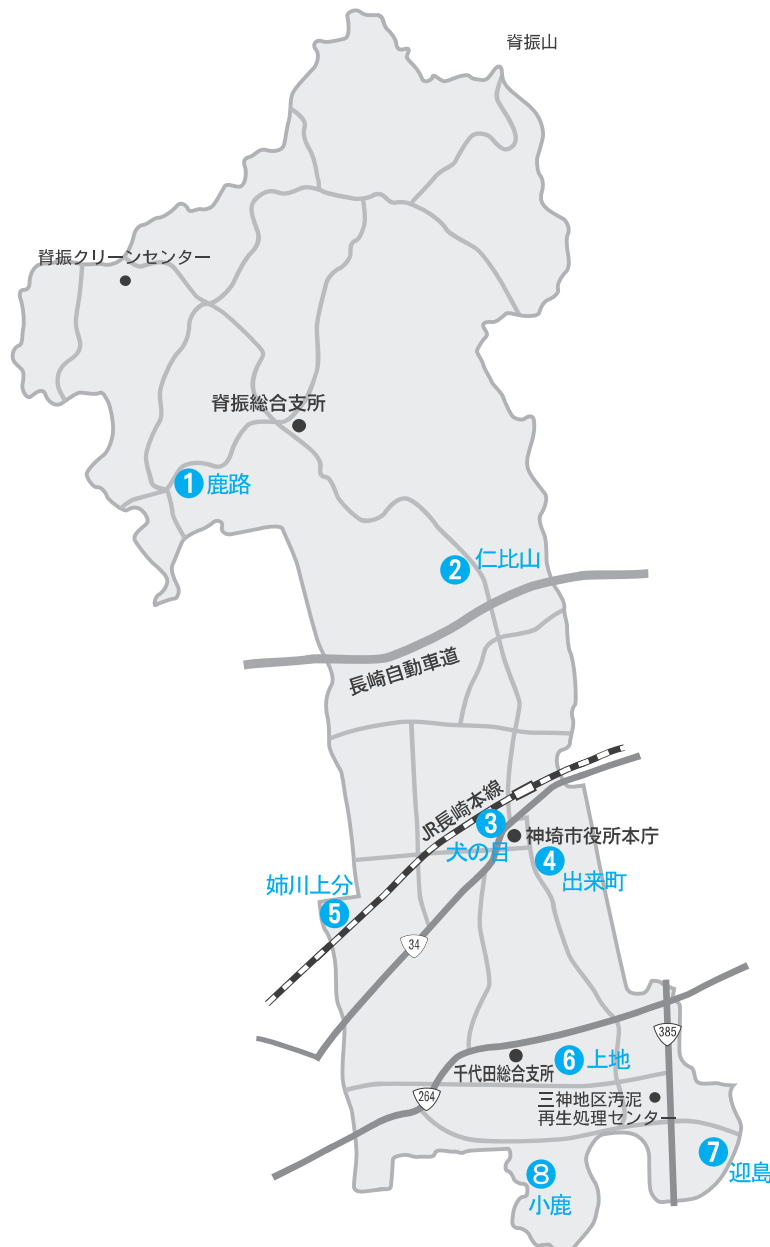
地区紹介 15



市民相互の理解と融和を図るため、市内 121 地区（神埼：63 地区、千代田：49 地区、脊振：9 地区）を紹介しています。

今回は、8 地区を紹介します。

※人口、世帯数は、平成 21 年 4 月末日の住民基本台帳のデータです。（施設などを含まず。）



にいやま
②仁比山 〈神埼町〉

人口 118 人、世帯数 37 世帯

仁比山は、神埼町の最北端に位置し、城原川をはじめ、仁比山公園やその付近の深谷の桜や緑など、風光明媚で自然豊かなところ。国の名勝「九年庵」の紅葉時には、毎年 9 万人以上の観光客で賑わいます。

また、12 年に一度、申年に行われる仁比山神社の「大御田祭」では、朝廷とのつながりを実感できる素晴らしい舞の奉納があり、きらびやかな衣装からも、はるか遠い時代を偲ぶことができます。

さらに、神社の参道には、鍋島直正御医や將軍家奥医師を務め、昨年 NHK大河ドラマ「篤姫」にも登場した伊東玄朴の生家があり、地区全体が、まさに歴史文化の宝庫です。



▲紅葉狩りで賑わう九年庵

ろくろ
①鹿路 〈脊振町〉

人口 250 人、世帯数 113 世帯

鹿路地区は、脊振町の南西部に位置し、東は佐賀市、西は旧大和町に隣接している地区です。

地区内には、鹿路神社があり、毎年年末になると、縄や門松を地区の住民で作って、神前に飾り付けます。平成 6 年には、900 年の大祭を行った歴史の古い神社です。2 月の祭典には、脊振神社の神主さんをお迎えして祭典が進められます。900 年程前から伝授されている行事で、的や弓矢を手作りで作って、この品物も神前に御供えし、御祓いを受けます。その年の魔除け、無病息災、家内安全を祈願して祭典終了後には境内に降りてのめがけて矢を射ます。

また、5 月と 12 月に祭典が行われます。ぜひ、見学に来てください。



▲鹿路神社 900 年大祭

おしか
⑧小鹿 〈千代田町〉

人口 83 人、世帯数 20 世帯

小鹿地区は、千代田町でも最も南に位置し、西は、佐賀市蓮池町に隣接している小さな地区です。

行事は、春の「おこもり」など 12 月の「お祭り」、2 月の「正月祭り」などいずれも地区の繁栄と住民の安全をお宮さんに祈願する事から始まる伝統のある行事です。特に 12 月第 2 日曜のお祭りは前日のしめ縄作りなどの準備から 2 日間にわたる最大の行事となっています。

また、昭和 30 年に発足した子どもクラブ「親和会」は、4 月 29 日（昭和の日）に親子・婦人会の食事交流会や清掃活動、花いっぱい運動に地区住民と一緒に参加するなど児童数は減っても明るい伝統は受け継がれています。



▲子どもクラブと婦人会による種まき

むかいしま
⑦迎島 〈千代田町〉

人口 305 人、世帯数 91 世帯

迎島は、福岡県と県境に位置し筑後川には六五郎橋が架かり、県道佐賀八女線と堤防県道諸富西島線に沿って民家が広がっています。中国の長江河口と筑後川河口だけに生息する「えつ」漁が解禁になると初夏の季節を感じます。

地区に伝わる伝承行事は、毎年 1 月 14 日のモグラ打ちと春（4 月）、秋（9 月）のおこもりなど豊作祈願のお祭があります。また、地区には菅原道真公を祀ったお宮があり、例年 11 月には村祭りが行われ、25 年周期で大祭が行われています。さらにお宮の境内には、昔の生活用品や農機具等が展示され、昔を偲ぶことができます。

興味のある方は、一度お立ち寄りください。



▲毎年行われるモグラ打ち

できまち
④出来町 〈神埼町〉

人口 553 人、世帯数 194 世帯

出来町は、旧長崎街道が町の中央を東西に走り、道の北側は「田道ケ里」、南側は「本堀」と異なった大字の住所となっています。

地区の中央を流れる三本松川沿いには、江戸中期（1766 年）に道間を中心として建てられた高さ 120cm の台座に高さ 90cm の地蔵さんが鎮座しており、その側に、昭和初期に町の有志によって建てられた観音さんが祀られています。

春分、秋分の日には、お遍路さんの接待と地区の親睦を目的として、お籠り祭りをしています。子ども達も地蔵さん、観音さんに感謝を込めて、8 月に男女別に千灯籠を実施し、学年間の交流が図られています。



▲地区を見守る地蔵さん(左)と観音さん(右)

いぬめ
③犬の目 〈神埼町〉

人口 793 人、世帯数 268 世帯

犬の目は、城原川東側堤防沿いに位置する南北約 1.4km、東西約 400 m の地域で、市役所、中学校、中央公民館、中央公園体育館、警察署、JR 神埼駅などの公共施設も地区の中央から半径 1km の圏内にあり、生活環境は良好です。

古くは、「犬の目ケ里」と呼ばれ、住民は代々榎田宮の氏子であり、2 年に 1 度行われる「みゆき大祭」の締元行列に参加しています。

平成の初めまでは、戸数も 100 戸に満たない地区でしたが、パインピア団地造成に伴い現在は 200 戸を超え、今後更に戸数の増加が予想されます。



▲榎田宮みゆき大祭記念（締元三組）